

アユ情報 第8号

2018年5月16日
栃木県水産試験場

アユ^そ遡上情報

アユの遡上状況についてお知らせします。

那珂川の状況

・茂木地区で、引き続き遡上を確認しました (5/15)。



調査場所 (テイテイ淵下流)



採捕された天然遡上アユ

< 茂木地区での定期調査結果 >

| 平成30年 | | | | 平成29年 | | | |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------|------|-------|----------|
| 日付 | 水温 | *採捕尾数 | 平均全長(mm) | 日付 | 水温 | *採捕尾数 | 平均全長(mm) |
| | | | | 3月22日 | 13.0 | 1.5 | 93.3 |
| 3月30日 | 16.2 | 3.0 | 87.5 | 3月29日 | 13.5 | 1.5 | 97.3 |
| 4月3日 | 16.8 | 8.0 | 88.4 | 4月4日 | 15.0 | 9.6 | 86.0 |
| 4月10日 | 16.1 | 30.0 | 86.6 | 4月11日 | 12.0 | 41.0 | 93.7 |
| 4月17日 | 14.5 | 216.0 | 93.3 | 4月18日 | 15.7 | 59.0 | 80.1 |
| 4月24日 | 17.2 | 61.3 | 83.0 | 4月25日 | 20.3 | 15.0 | 95.9 |
| 5月1日 | 21.0 | 59.0 | 86.3 | 5月2日 | 20.1 | 50.0 | 96.6 |
| 5月8日 | 17.0 | 92.0 | 82.3 | 5月9日 | 20.2 | 27.1 | 100.0 |
| 5月15日 | 21.0 | 76.1 | 82.6 | 5月16日 | 22.0 | 74.7 | 89.5 |
| | | | | 5月22日 | 26.1 | 26.5 | 84.6 |

*投網1人1時間あたりに換算した採捕尾数

近県の状況

- ・茨城県内の久慈川では3/14に堅磐堰（河口から約8km）で遡上が確認されています

茨城県水産試験場内水面支場

平成30年久慈川・那珂川アユ遡上速報第1号

- ・多摩川のガス橋付近では、昨年の5.8倍の遡上が確認されています。

→3/20～5/15までの累計入網数：438,054尾（H29年同時期：75,480尾）

東京都島しょ農林総合研究センター 平成30年アユ遡上調査

- ・荒川の秋ヶ瀬取水堰では、昨年の2.1倍の遡上が確認されています。

→4/6～5/14までの累計遡上数：466,212尾（H29年同時期：220,743尾）

利根導水総合事業所：平成30年度の秋ヶ瀬取水堰稚アユ遡上状況

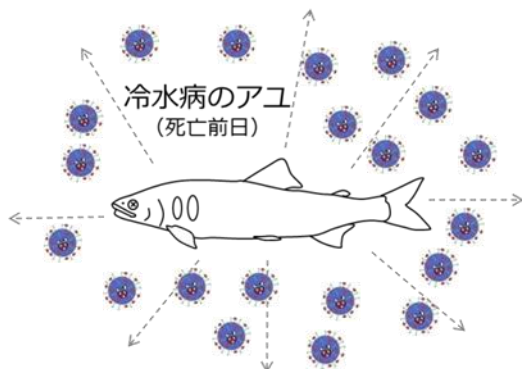
- ・利根川の利根大堰では、昨年の6.7倍の遡上が確認されています。

→4/21～5/14までの累計遡上数：23,637尾（H29年同時期：5,702尾）

利根導水総合事業所：平成30年度の利根大堰におけるアユの遡上状況

豆知識～オトリアユの持込みにご注意ください～

10分間で約1万個の 冷水病菌を排出



冷水病を発症したアユは、大量の冷水病菌を排出します。例えば、冷水病によって死亡する前日のアユは10分間で約1万個の冷水病菌を排出しているそうです（大原ほか2010.）。また、冷水病に感染したアユは、感染から数日で死亡することもあります。つまり、冷水病に感染したアユをオトリアユとして持ち込んだ場合、あっという間に冷水病が広まる可能性があります。

実際に、2017年の県内のアユ漁場では、解禁日に冷水病が発生していなかった漁場も、その後平均17日で冷水病が発生していました。また、2016年の解禁日に西大芦漁協管内で調査したところ、14%の釣り人がオトリ鮎を別の地域から持ち込んでいました。冷水病の発生を防ぐ、もしくは少しでも発生を遅らせるためにも、冷水病が発生している河川で釣ったアユをオトリ鮎として他の河川へ持ち込むことは決してしないでください。オトリ屋さんで購入する場合も、冷水病が疑われるようなオトリ鮎は避けてください。

連絡先 栃木県水産試験場

電話 0287-98-2888 FAX 0287-98-2885

ホームページアドレス

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g65/index.html>